



学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

振り返ろう！2学期を。今年的一年を！

日常の五心

- 「はい」という素直な心
- 「すみません」という反省の心
- 「おかげさま」という謙虚な心
- 「私がします」という奉仕の心
- 「ありがとう」という感謝の心

はい。すみません
ごめんなさい。

ありがとう。



上記の言葉が本校の廊下に掲示してあります。元々は仏教関係の教えの様ですが、出所は諸説あるようです。子ども達も大人も、私達誰もが日頃から意識し、心がけ備えておきたい心の在り様だと思います。

2学期の終わり、そしてこの一年の終わりを迎え、自分自身はどうであったか。振り返させたいものです。

子ども達は正に伸び盛り。その大小や時期の違い等はあるけれども、皆、様々なより良い成長を見せてくれます。2学期、そしてこの一年、どんなことができるようになったか。どう成長したか。その成長を喜ぶたいものです。一方、子どもですから様々な失敗や過ちを犯してしまう存在でもあります。失敗や過ちは今後の伸びしろです。良い部分と共に、課題となる部分を明らかにし、改善することが、更なる成長には欠かせないと思います。良くない課題ある言動は誰にでもあったらと思います。そこで、そんな課題に気づけることが大切です。そんな時には、上記の「日常の五心」に沿って、次のことを振り返って考えてみるとよいかもしれません。

○大人や友達から指導や注意を受けた時、ひねくれず「素直な心」で受け止め
自分の言動の過ちを認めることができたか。

悪いことしちゃったなあ。

○失敗した時、よくない言動等の過ちをしてしまった時、「反省の心」
を持ち、何が良くなかったのか、どうすればよかったのか・・・と
自分が言ったこと、したことを振り返ることができたか。



○自分が身の回りの多くの人々に支えてもらっていることに気づき、
そのおかげでという「謙虚な心」を持つことができたか。

○「誰かがやるだろう」ではなく、「自分がやる」と、誰かの為に、
学級や学校の為に、家族の為に、何かの為に尽くそうという
「奉仕の心」をもって、動いたり働いたりできたか。



○相手の思いやりある言動に気づき、「感謝の心」をもって受け止め、
その気持ちを「ありがとう」という言葉や態度に表して伝えることができたか。

子どもと共に私達教師も振り返ろうと思います。保護者の皆様も子どもさんと一緒に、学校や家庭、地域の中での子ども達の生活の様子を振り返って見られてはいかがでしょうか？